

WEEKLY REPORT

2018-2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



承認/1965年 6月 25日
例会日/毎週木曜日 12時 30分
例会場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
TEL 0587-54-8132

事務局/江南商工会館別館1F
〒483-8205 江南市古知野町小金112
TEL 0587-55-6554 FAX 0587-59-7720
URL <http://www.kounan-rc.com/>
e-mail kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/片平博己 幹事/波多野智章 会報・広報雑誌委員長/猪子明



2019年(平成31年)1月10日(木)晴れ 第2635回(当年度第21回)例会

点鐘
司会
国歌斉唱
ロータリーソング斉唱
四つのテスト唱和

会長 片平 博己君
SAA 近藤 道彦君
「君が代」
「奉仕の理想」

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶

会長 片平 博己君



明けましておめでとうございます。
大変、穏やかな天気にも恵まれたお正月でしたが、皆様、いかがお過ごしでしたでしょうか。
2019年は、十干十二支でいうところの、己(つちのと)亥(い)となります。己(つちのと)は、昨年2018年戊(つちのえ)で勢いづいて伸び広がったもの、こんがらがったものを翌年2020年の庚(かのえ)の「更新」に向けて、「修正する」、「規律を正す」年であるとのことです。また、「亥」は、イノシシではなくて、「種」「核心」を表し「新しい種を育て養う」、「核心に迫る」年だそうです。つまり、本来あるべき筋道に沿って進み、山や壁にぶつかりながら、なかなかすぐには、成果は出ないけれど、それは着実に次の世界、自分のエネルギーになっ

ているということだそうです。

今年、天皇陛下が譲位され、新元号となります。また、秋には消費税が上がります。ロータリークラブでは、伊藤ガバナ一年度でもあり、江南ロータリークラブ創立55周年を迎える年でもあります。変化は進化。変化するには、古いものを一旦、終了させなければなりません。ただし、新しいものが生まれてもすぐに成果、効果が表れるものでもありません。紆余曲折しながらも、種は地中で芽吹き育っています。焦ることなく、道を外さず、着実に進めることが今年を成功に結び付けることになるのではないのでしょうか？

皆様方にとって、良き一年になりますことを祈念申し上げます。

入会式

紹介者 南村 朋幸君



会長からバッチ授与





幹事報告 -別紙- 幹事 波多野 智章君
 祝 福 -別紙- 委員長 尾関 育良君
 出席報告 委員長 富永 典夫君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
45名	30名	15名	81.08%
前々回（12月27日）休会の為 補正はありません。			

ニコボックス 富永 典夫君

○会員の皆様、本年もよろしくお祈りします。「年男語る！」楽しみにしております。早川一三さんの入会を喜んで!!

片平 博己、加藤 義晴、波多野 智章 各君

○本日、亥年の卓話です。よろしくお祈りします。還暦となりました。 暮石 哲真君

○本日から江南ロータリークラブにお世話になることになりました。よろしくお祈りします。 早川 一三君

○新春例会「年男語る！」楽しみです。

早川一三君の入会を喜んで。

伊藤 鶴吉、倉知 正憲、安藤喜代司、川崎 良一、
 富永 典夫、杉浦 賢二、堀尾 庄一、松井 智義、
 沢田 昌久、岩田 静夫、長瀬 晴義、木本 寛、
 濱島聡一郎、岩田 進市、近藤 道磨 各君

卓話 新春例会、年男語る！ 暮石 哲真君



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

平成31年は、己亥です。「己」は、草木が十分に生い茂って整然としている状態をいい、人に置き換えると、成長の時期に当たります。

つまり不完全である自己や成熟した組織が、次の段階をめざす準備をする歳だそうです。また「亥」は十二支の最後に位置し、植物の成長としては、種に生命を引

き継いだ状態をさし、個人も組織も内部の充実が心げけると良いという歳だそうです。

私は、今年60才になります。いわゆる還暦を迎えます。同じ還暦を迎えるガバナーエレクトの伊藤君とは同窓ですが、大きくすばらしいことに一歩ふみだす伊藤君とは対照的に、いろいろなことを考えどうしても守りに入っていく自分がいますが、不完全な自己の研鑽に努めていきたいと思っています。

クラブとしてはガバナー輩出年度を迎え全員でバックアップして盛り上げていく中でその一員としてついていくだけになるかもしれませんがお役に立てればと思います。

伊藤君は、地区大会ではロータリーの多様性の話をされていたと思います。

昨年クイーンのボヘミアンラプソディを見てきましたが、彼らの曲はどのようにできたかという、いろいろな個性のぶつかり合いのもとにできています。何物にもこだわらない、全ての融合、その多様性があのようなすばらしい曲になったことがよくわかりました。皆が右を向いているような組織では、良い方に向いていくことはないと思います。いろいろな要素があつてこそ組織は存続していきます。

多様性が、いい意味での化学変化を起こし持続可能な組織として存続していくのでしょうか。

個人としては、内部からの気持ちの盛り上がりを考え、赤いものを持つということ、赤いふんどしではありませんが、名刺を赤にし、気持ちの面から熱く行こうと考えています。

昨年京都に行くことがたまにあり、いのししの守護神の護王神社をしりました。

和気清麻呂を祭つてある神社で狛犬ではなく狛いのししが迎えられる別名イノシシ神社です。猪年の人が多く会員としていらっしゃいます。ロータリアンで裏千家の鵬雲斎大宗匠もいらっしゃいます。

清廉潔白・質実剛健・災難をはねのけ己の信念を貫き、今の京都繁栄につながる造営をなさしめた、和気清麻呂にあやかってロータリアンとして頑張っていきたいと思っています。

役員もあと半年ですが、副幹事として片平会長のもとロータリーの教を乞いたいと思っています。

点 鐘 会長 片平 博己君

本日の食事



(担当 猪子 明)